

## 結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の<sub>大分県</sub>の人口は 1,209,571 人で、前回調査の 12 年に比べ 11,569 人、0.9%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、<sub>大分市</sub>が 462,317 人(県人口の 38.2%)で最も多く、次いで <sub>別府市</sub>が 126,959 人(同 10.5%)、<sub>中津市</sub>が 84,368 人(同 7.0%)、となっており、最も少ないのは <sub>姫島村</sub>の 2,469 人(同 0.2%)となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 569,796 人、女性が 639,775 人で、女性が 69,979 人多く、人口性比(女性 100 人に対する男性の数)は、平成 12 年の 89.3 から 89.1 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 164,541 人(県人口の 13.6%)、15~64 歳人口は 748,872 人(同 61.9%)、65 歳以上人口は 292,805 人(同 24.2%)となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.1 ポイント低下、1.5 ポイント低下、2.4 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 64.7%、女性が 56.2%、未婚率は男性が 27.2%、女性が 20.7%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 6,871 人で、平成 12 年に比べ 2,172 人、46.2%増加している。
- 7 <sub>大分県</sub>の一般世帯数は 465,195 世帯で、平成 12 年に比べ 13,498 世帯、3.0%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 135,868 世帯(一般世帯の 29.2%)と最も多くなっている。  
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.64 人から 2.52 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 268,014 世帯(一般世帯の 57.6%)で、このうち夫婦のみの世帯は 104,023 世帯(同 22.4%)、夫婦と子供から成る世帯は 125,115 世帯(同 26.9%)となっている。また、単独世帯は 132,586 世帯(同 28.5%)となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 192,023 世帯(一般世帯の 41.3%)で、このうち「一人暮らし高齢者」(65 歳以上の単独世帯)は 47,379 世帯(65 歳以上親族のいる一般世帯の 24.7%)、高齢夫婦世帯<sup>(注)</sup>は 55,037 世帯(同 28.7%)となっている。  
(注) 夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 64.1%で、平成 12 年に比べ 0.3 ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 98.6 m<sup>2</sup>から 98.1 m<sup>2</sup>と狭くなっている。

図1 大分県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

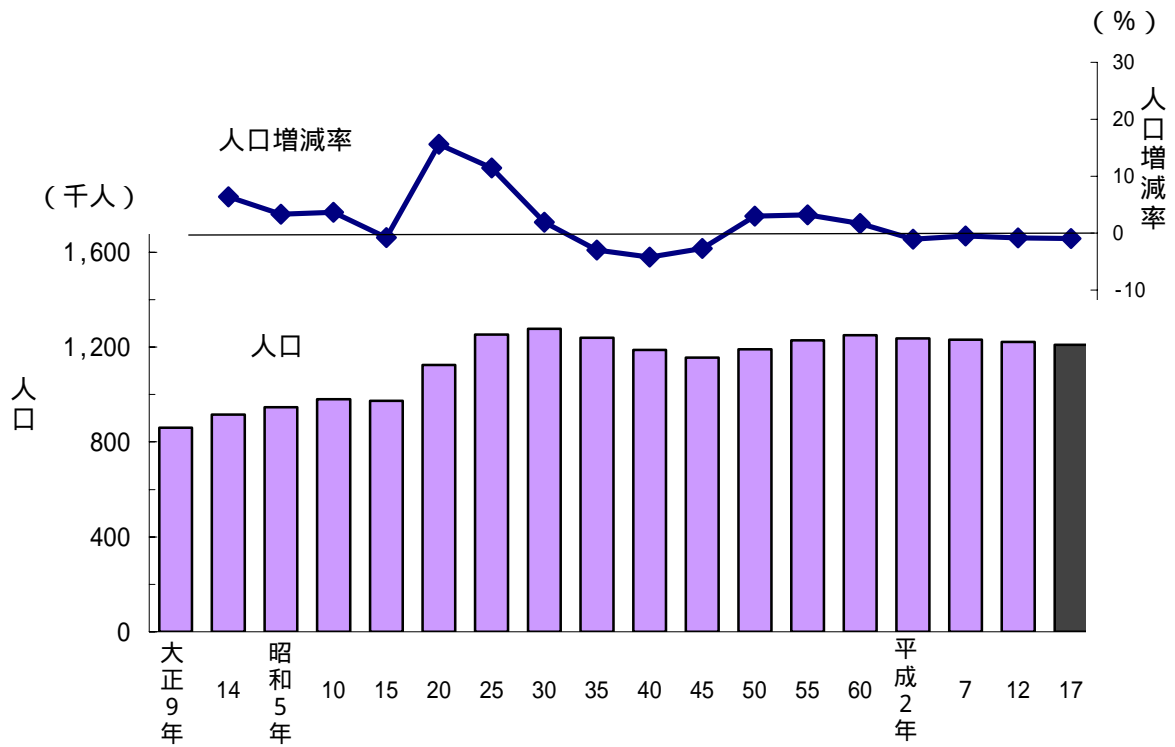


図2 大分県の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・17年）

